

文科省発表「学校基本調査速報」についての新聞各紙の報道

| 新聞          | 記事タイトル                                 | 記事中「割合」と「文科省のコメント」に触れている部分   |
|-------------|--|--|
| 朝日          | 不登校の小中学生、3年連続で減少 文科省調査                 | 総数そのものも少子化で過去最低となっており、全体に占める割合としては1.14%でほぼ横ばいだった。  |
| 産経<br>(共同)  | 不登校、3年連続で減少<br>大学進学率は初めて50%超           | 不登校は3年連続の減少。児童生徒全体に占める割合も0.01ポイント減り、1.14%だった。文科省は「適応指導教室を充実させた成果などが表れたと考えられるが、依然として不登校は12万人に上っており、教育上の深刻な課題だ」としている。  |
| 日経          | 不登校3年連続減少・昨年度小中学生                      | 減少は3年連続。児童生徒全体に占める割合は1.14%で0.01ポイント低下した。文科省は「適応指導教室の充実など様々な施策の効果だと思うが、依然として12万人台に上っており、深刻な教育上の問題だ」(児童生徒課)と話している。   |
| 読売          | 昨年度の不登校小中生、3年連続減の12万3千人                | ただ、小中学生数も減っているため、全体に占める割合(1.14%)は0.01ポイント改善しただけで、文科省は「教育上の深刻な課題であることに変わりはない」としている。   |
| 毎日          | 不登校：児童・生徒数は3年連続減少 全体の割合は微減             | ただ、児童・生徒全体に占める不登校の割合は1.14%(前年度比0.01ポイント減)とわずかな減少にとどまった。文科省は「スクールカウンセラーなどの相談体制や教育支援センター(適応指導教室)などの対策が功を奏していると思うが、減少傾向とまではいえない」とみている。  |
| 道新<br>(JWA) | 不登校、3年連続で減 全国小中生12万3000人<br>道内も同傾向     | 減少は三年連続。文科省は「減少局面に入ったとはまだ、断言できない。さらなる対策が必要だ」としている。全体では1.14%で前年度を若干下回った。  |
| 不登校         | 不登校数12万人3000人に〔学校基本調査〕<br>3年連続減、割合は横ばい | 3年連続で減少となった。全児童生徒に占める割合は0.01ポイント減少の1.14%となった。文科省は、不登校数の減少について「スクールカウンセラーの配置など地道な取り組みの成果と言えるが、以前として相当数の不登校児童生徒があり、重要な課題。今年度からの民間施設への調査委託、カウンセラーの充実などで、不登校の子どもたちの学校復帰、社会的自立に向けて取り組んでいきたい」との見解を示した。 |
|             |  |  |